

度像および造影 T1 強調像で高信号に描出され、T1 強調像と flow compensation を併用しなかった T2 強調とプロトン密度像では低信号に描出された。

(結論) MRI の肝日本住血吸虫症における有用性は線維性中隔の検出能からみて低いと考えられた。

37. 副腎腫瘍の Dynamic MRI

那須克宏 (沼津市立)

副腎腫瘍の dynamic MRI は過去に高磁場における報告はあるが中磁場における報告はない。今回われわれは副腎およびその近傍の 19 部位に対して 0.5T における dynamic MRI を実施した。方法は T1 強調の field echo 法、息止め下に腫瘍の中央を通る横断像を造影前および造影剤投与 1 分後から 2 分おきに最大 21 分まで撮像し腫瘍の中心で均一な部分と同一平面の後腹膜ないしは皮下の脂肪に同じ大きさの ROI を設定し前者を I_M 、後者を I_F とし I_M/I_F の時間的変化と臨床診断を比較をした。

褐色細胞腫 4 例では I_M/I_F は造影直後に最大を示し Wash out はほとんど認められなかった。副腎皮質腺腫 4 例は造影直後に I_M/I_F は最大を示した後に明らかな wash out を示した。神経鞘腫 3 例は造影直後よりも 5-9 分後に I_M/I_F の最大値が認められた。転移においては一定のパターンは指摘できなかった。

結論としては、副腎腫瘍の dynamic MRI はいくつかの疾患の診断には有効であるが転移を鑑別することは困難であると思われた。

38. 円形無気肺

宮沢 浩 (聖マリアンナ医科大)

39. 無水的に作成したエピルビシン、カルボプラチン、リピオドール懸濁液を用いた TAE —薬剤血中濃度変化の検討—

尾崎正時, 根本和久 (榛原総合病院)
松迫正樹 (聖路加国際病院)

我々は肝癌の TAE にカルボプラチン、エピルビシンを最初から直接リピオドールに懸濁して作成した懸濁液を用いる方法とカルボプラチンを直接リピオドールに懸濁しそれに造影剤に解いたエピルビシンと混合して作成した懸濁液を用いる 2 つの方法を用いている。両者で TAE 後の末梢血清プラチナ濃度の変化を比較した。結果は水溶性造影剤を用いない方法のほうが総プラチナ濃度: $p=0.0013$, 蛋白遊離プラチナ濃度: $p=0.0037$ で

有意に末梢血清プラチナ濃度が低かった。水溶性造影剤を用いずに薬剤を直接リピオドールに懸濁するほうが末梢血への薬剤漏出は少なくなることが示された。

40. 乳癌定型的手術後の照射治療成績

原 竜介 (琉球大)

41. 悪性軟部組織腫瘍に対するアドリアマイシン少量持続静注、放射線、温熱併用療法の試み

加藤 肇, 宇野 隆, 伊丹 純
椎名丈城, 酒井光弘 (国立病院医療センター)

[目的] 悪性軟部組織腫瘍に対し、単剤では最も有効とされるアドリアマイシンの少量持続点滴静注、放射線、温熱併用療法を施行、局所制御について検討した。[対象] 外科的根治療法が困難と考えられた体幹、頸部の悪性軟部組織肉種 6 例 (悪性線維性組織球種 2 例の他、滑膜肉腫、血管肉腫、平滑筋肉腫、軟骨肉腫各 1 例) [方法] 通常分割法での放射線治療にアドリアマイシン (IVH ラインより $12\text{mg}/\text{sqm}/\text{day}$ の 5 日間持続静注を 3 週間の間隔で 2 回繰り返す)、週 1 回の温熱療法 (RF 8 使用、誘電加温) を併用した。[結果] 6 例中 CR2, PR2, NR2 [結論] 観察期間が短いものの局所制御に関しては奏効率 67% であり、本治療法の有効性が示唆された。また重篤な副作用は見られなかった。

42. 腫瘍近傍の大血管血流が加温に及ぼす影響に関する基礎的研究

遊佐昌樹 (君津中央)
三好武美 (千大)

温熱療法において、腫瘍近傍の大血管血流の存在が温度上昇に与える影響を実験的に検討した。TAGMED-434 システム表在加温用 Box 型アプリケーションに 0.3% NaCl 加 4% 寒天ファントムを用い、径 8 mm ビニルチューブに水を通し血流モデルとした。血液の存在下に有効加温領域の大幅な横方向への縮小がサーモグラフィで認められ、影響は管壁より 30mm 程度に及んだ。血流速度と温度下降の関係では、80cm/s の流速は、5cm/s の約 1.4 倍の初期下降度を示した。これは血流の温度測定から求めた、血流が運び去る熱量とも一致した。血管近傍に組織内加温用針状アプリケーションをおき併用加温をすると、有効加温領域がはかかなり回復した。腫瘍近傍に大きな血管がある場合には、期待通りの加温は困難と思われた。